

地方創生 2.0 に関するアンケート

ご協力をお願い

貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私ども 大正大学 地域構想研究所 では、地域の課題解決に向けた研究・調査を行い、地方創生を支援しております。これまでも「地方版総合戦略」に関するアンケートを実施し、自治体の政策立案に役立ててまいりました。

また、リカレント教育やリスキリングを通じた人材育成にも取り組んでおり、デジタル化の進展や地域間競争が進む中、自治体職員のスキル向上や官民連携の重要性が高まっていると考えています。

このたび、地方創生 2.0 の視点から、人口減少時代の政策立案や人材育成に関する自治体の取り組みについてお伺いするため、調査を実施することとなりました。本調査は、自治体の課題や人材不足の実態を明らかにし、それを基に教育プログラムの構築を検討することを目的としています。

業務ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが別紙アンケートにご回答いただき、以下のいずれかの方法にてご返信くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、今回ご回答いただきましたアンケート結果につきましては、後日皆様へ改めてご報告させていただきます。ご意見等ございましたらお気軽に下記までお問合せください

令和 7 年 3 月

大正大学 地域構想研究所

所長 片山善博

【ご回答方法】 以下のいずれかの方法でご返信ください。

① **WEB にて** : <https://questant.jp/q/tais2025> にアクセスしてご回答ください。

② **FAX にて** 回答用紙の返信: **FAX 03-5394-3055** までご返信ください。

③ メールでも可能です。その場合は、本紙に手書きでご回答いただき、それを PDF または写真画像としてメール添付してご返送ください。: chikouken_office@mail.tais.ac.jp まで

※**ご回答の締切日: 令和 7 年 4 月 21 日(月)まで**

【本件の内容に関するご質問・お問合わせ】

大正大学 地域構想研究所 担当:山本 恭久 / 阿部 聖子

電話: 03-5944-5482(代表) メール: chikouken_office@mail.tais.ac.jp

地方創生 2.0 に関するアンケート

大正大学 地域構想研究所

本調査は、自治体の皆様における 地方創生 2.0 の取り組みや課題、人材育成に関する現状を把握し、今後の政策立案や支援策の検討に活かすことを目的としています。回答いただいた自治体には、後日、詳細分析結果も含めてフィードバックいたしますので、ぜひご協力をお願いいたします。

※なお、本調査の結果は、どの自治体がどのように回答したかは特定できない形で公開いたします。ぜひ忌憚のないご意見をお聞かせください。

尚、回答は、4月21日（月）までにご返送ください。

●自治体の現状について、お伺いいたします。

Q 1-1 貴自治体名をご記入ください。

【貴自治体名】

Q 1-2 貴自治体の属性を教えてください。

1. 市 2. 区 3. 町 4. 村 5. その他（ ）

Q 1-3 貴自治体の人口規模であてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 5万人未満
2. 5万人以上～10万人未満
3. 10万人以上～30万人未満
4. 30万人以上～50万人未満
5. 50万人以上～100万人未満
6. 100万人以上

●地方創生 2.0 について、伺いたします。

Q 2-1 「地方創生 2.0」に対する貴自治体の姿勢として、**最も近いものを1つ選んで○**をつけてください。

1. 新しい概念として積極的に取り入れている（施策や取り組みに反映している、など）
2. 既存の施策・事業を見直すきっかけとして検討している（内部や他団体と議論している、など）
3. 地方創生 1.0 の延長として考えている（これまでの延長線上で取り組んでいる、など）
4. まだ特に意識していない（具体的な取り組みや議論は進んでいない、など）

Q 2-2 人口減少を前提とした地域づくりの考え方を「スマートシュリンク」と呼びます。

この概念について、貴自治体ではどの程度ご存知ですか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
4. 全く知らない

Q 2-3 **上記 Q 2-2 で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」と回答した方**は、スマートシュリンクに対して、どのような印象をお持ちですか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

（首長、自治体としてのご意見を教えてください）

1. 前向きに捉えている（地域の持続可能性に貢献する）
2. どちらかといえば前向きに捉えている
3. 中立的（良い点と課題の両方があると考えている）
4. どちらかといえばネガティブに捉えている
5. ネガティブに捉えている（地域の衰退を容認する考え方だと感じる）

Q 2-4 人口減少を前提とした政策立案について、どのようにお考えですか？

最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 積極的に取り入れるべきであり、現実に即した施策が重要だと考えている
2. 必要だが、強調しすぎると後ろ向きな思考になりすぎる懸念があると考えている
3. 必要だが、あえて強調する必要はあまりないと考えている
4. 可能な限り人口減少を抑制する施策に重点を置くべきだと考えている
5. その他 → **（具体的に** _____ **）**

Q 2-5 地方創生 2.0 を念頭に、総合戦略を策定しなおす、または改訂するなどの予定はありますか？**最も近いものを1つ選んで○をつけてください。**

1. 全面的に策定しなおす予定
2. かなり改訂する予定
3. 一部改訂する予定
4. まったく改訂しない予定
5. 未定
6. その他 → (具体的に _____)

Q 2-6 上記Q 2-5で「1. 全面的に策定しなおす予定」、「2. かなり改訂する予定」、「3. 一部改訂する予定」、「6. その他」と回答した方は、上記で改定を予定している場合、その際の外部委託（コンサルタントや有識者など）についてどのような予定ですか？

最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

※確定している場合も「予定」としてお答えください

1. かなりの部分を外部委託する予定
2. 一部を外部委託する予定
3. 外部委託はしないが、専門家の協力を得る予定
4. 全て、自治体内で行う予定
5. 未定
6. その他 → (具体的に _____)

Q 2-7 上記Q 2-6で「1. かなりの部分を外部委託する予定」、「2. 一部を外部委託する予定」、「3. 外部委託はしないが、専門家の協力を得る予定」、「4. 全て、自治体内で行う予定」、「6. その他」と回答した方は、外部委託の予定について、実際にはどのように感じていますか？

最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 本当はもっと職員が担うべきだが、現実的に難しいと感じている
2. 本当はもっと外部委託したいが、予算や組織の方針で難しい
3. 特に意識していない
4. その他 → (具体的に _____)

●地域の課題と人材についてについて、お伺いいたします。

Q3-1 現在、貴自治体が抱えている大きな課題は何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 人口減少・少子高齢化 | 6. 医療・福祉の充実 |
| 2. 財政問題 | 7. デジタル化・DX 推進 |
| 3. 地域産業の衰退 | 8. 公共施設や公共交通の老朽化、継続 |
| 4. 災害対策・防災・減災 | 9. 環境問題・持続可能な開発（SDGs） |
| 5. 教育・子育て支援 | 10. その他 |

(具体的に _____)

Q3-2 上記（Q3-1）で挙げた課題の中で、特に戦略的に重視している課題を2つ選んで枠に番号を記入してください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 人口減少・少子高齢化 | 6. 医療・福祉の充実 |
| 2. 財政問題 | 7. デジタル化・DX 推進 |
| 3. 地域産業の衰退 | 8. 公共施設や公共交通の老朽化、継続 |
| 4. 災害対策・防災・減災 | 9. 環境問題・持続可能な開発（SDGs） |
| 5. 教育・子育て支援 | 10. その他 |

--	--

← 番号を記入してください

Q3-3 上記（Q3-2）で挙げた課題に対して、職員のスキルや能力で、不足していると感じるものは何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 法律・制度に関する知識 | 5. デジタルや業務効率化スキル |
| 2. 当該課題分野の専門知識 | 6. 広報、PR スキル |
| 3. 予算、財務管理 | 7. その他 |
| 4. 調査やデータ分析スキル | (具体的に _____) |

Q3-4 上記（Q3-3）で挙げたスキルの中で、現在、最も必要としているものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 法律・制度に関する知識 | 5. デジタルや業務効率化スキル |
| 2. 当該課題分野の専門知識 | 6. 広報、PR スキル |
| 3. 予算、財務管理 | 7. その他 |
| 4. 調査やデータ分析スキル | |

Q3-5 地域活性化を進めるために、貴自治体内にどのような人材が必要だと感じますか？

以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

1. 地域の課題を見つけてプロジェクトを推進するリーダー
2. リーダーを支えながら現場を動かす実行マネージャー
3. 人と人をつなぎ、対話を促すコミュニケーター
4. デジタル技術を活用して新しい価値や視点を生み出すイノベーター
5. 地域の魅力を発掘し、新しい取り組みを企画するプランナー
6. グローバルな発想で地域を豊かにするコーディネーター
7. その他 → (具体的に _____)

Q3-6 上記(Q3-5)で挙げた人材の中で、現在、貴自治体内で最も必要としているものを1つ選んで○をつけてください。

1. 地域の課題を見つけてプロジェクトを推進するリーダー
2. リーダーを支えながら現場を動かす実行マネージャー
3. 人と人をつなぎ、対話を促すコミュニケーター
4. デジタル技術を活用して新しい価値や視点を生み出すイノベーター
5. 地域の魅力を発掘し、新しい取り組みを企画するプランナー
6. グローバルな発想で地域を豊かにするコーディネーター
7. その他

●職員の人材育成について、お伺いたします。

Q 4-1 職員のスキル向上に向けた研修や教育プログラムを実施していますか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 実施している | 3. 実施していないが今後も予定はない |
| 2. 実施していないが今後予定がある | 4. 過去に実施していたが現在は行っていない |

Q 4-2 上記Q 4-1で「1. 実施している」と回答した方は、実施している職員のスキル向上に向けた研修や教育プログラムは、どの方法（会場）で実施していますか？

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治大学校 | 6. eラーニング研修 |
| 2. 市町村アカデミー | 7. 他団体や民間企業への派遣 |
| 3. 国際文化アカデミー | 8. 内部研修（OJT） |
| 4. 都道府県（または自前の）研修施設 | 9. その他 |
| 5. 大学・大学院への受講支援 | (具体的に _____) |

Q 4-3 以下のそれぞれの職員向け教育プログラムの受講形式について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

項目	1. やって いて今後増 やしたい	2 やって いて横ばい	3. やって いて減らし たい	4. やって いたが今後 やらない	5. やって いないが今 後実施した い	6. やって いないし今 後も予定な し
オンライン講座	1	2	3	4	5	6
対面講座	1	2	3	4	5	6
ハイブリッド形式	1	2	3	4	5	6
短期集中型	1	2	3	4	5	6
長期異部署（他団 体）交流型	1	2	3	4	5	6

Q 4-4 教育プログラムに期待することについて、あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 実務に直結する内容 | 4. その他 |
| 2. 講義＋実践の組み合わせ | (具体的に _____) |
| 3. 他自治体や企業との交流の機会 | 5. 期待することは特にない |

Q 4-5 上記(Q 4-4)で挙げた、教育プログラムに期待することの中で最も期待しているものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 実務に直結する内容 | 4. その他 |
| 2. 講義＋実践の組み合わせ | 5. 期待することは特にない |
| 3. 他自治体や企業との交流の機会 | |

Q 4-6 職員が教育プログラムに参加するうえでの障壁は何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 時間の確保 | 5. プログラムの内容 |
| 2. 予算不足 | 6. その他 |
| 3. 職員のモチベーション | (具体的に _____) |
| 4. 上司・同僚の理解 | 7. 障壁は特にない |

Q 4-7 上記(Q 4-6)で挙げた参加するうえでの障壁の中で最も障壁となっているものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 時間の確保 | 5. プログラムの内容 |
| 2. 予算不足 | 6. その他 |
| 3. 職員のモチベーション | 7. 障壁は特にない |
| 4. 上司・同僚の理解 | |

Q4-8 大学に期待する内容について、以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

1. 幅広い知識の提供（リベラルアーツなど）
2. 実践的なスキルの学び直し（リスキリング・社会人教育）
3. 最新の知識を学び続ける機会（リカレント・継続学習）
4. 地域と連携した調査・研究
5. 研究成果を生かす社会実装
6. 人材交流やネットワークの場の提供
7. その他 → **（具体的** _____ **）**

Q4-9 上記（Q4-8）で挙げた大学に期待する内容の中で、最も期待する内容を1つ選んで○をつけてください。

1. 幅広い知識の提供（リベラルアーツなど）
2. 実践的なスキルの学び直し（リスキリング・社会人教育）
3. 最新の知識を学び続ける機会（リカレント・継続学習）
4. 地域と連携した調査・研究
5. 研究成果を生かす社会実装
6. 人材交流やネットワークの場の提供
7. その他

Q5 その他、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。【自由回答】

●アンケートの分析結果送付の申込について

本アンケートの結果は、大正大学地域構想研究所のHP (<https://chikouken.org>) で公開予定で、さらに詳細レポートを作成する予定です。詳細レポートの送付を希望される場合は、下記に必要事項をご記入ください。

Q6 詳細レポートの送付をご希望されますか？

1. 希望する → 希望される方は、以下の項目をご記入ください
2. 希望しない

※ご入力もれ、またはご入力内容に不備があった場合、詳細レポートをご送付できない場合がございますので、必要事項のご入力内容にお間違いのないよう、ご確認をお願いいたします。

貴自治体名・部署名	
ご担当者 氏名	
ご担当者 フリガナ	
メールアドレス	
電話番号	